

## 平成 27 年度 筑紫女学園大学・短期大学部の改組計画について

筑紫女学園大学・短期大学部 学長 若原 道昭

21 世紀に入って十余年が経過した現代社会においては、グローバル化、IT 化、少子高齢化が進展する中で人々の価値観の多様化が進み、社会構造に大きな変化が生じています。

このような社会変革が進む中では、社会における女性の役割も変化し、女性の能力のさらなる発揮が社会の側からも強く要請されてきています。

筑紫女学園大学・短期大学部は、このような女性と社会の関わり方の変化を見据え、以下のような大学・短期大学部改組を構想し、平成 27 年度から実施する予定です。

### 【現代社会学部の設置】（設置構想中）

近年、産業社会において女性の果たす役割はますます大きくなっています。このような社会変化に対応するため、現代社会学部の設置を構想し、平成 27 年 4 月の開設を目指します。

現代社会学部では、社会学の基礎を理解しデータ作成・分析のノウハウを学んだ上で、ビジネス・メディア・環境共生を対象として学びます。また 4 年間を通じたゼミナール科目を重視して、学生が主体的に学ぶためのアクティブラーニングを積極的に導入し、コミュニケーション能力が高く、問題解決力を身につけ、チームで働くことでより高い成果を上げることができる女性を養成します。

### 【短期大学部の募集停止】（構想中）

本学短期大学部では、昭和 40 年に開学以来約 50 年間にわたって、豊かな教養を身につけ、現代社会・地域社会に貢献し活躍する女性を数多く輩出してまいりました。

その一方で、近年の急激な社会環境の変化は、女性の社会における役割の多様化を進め、それによって女子教育に対する社会的ニーズは、より高度なものになってきました。

本学では、このような社会の要請に対応するため、これまで短期大学部が培ってきた教学の成果を 4 年制大学で継承し、さらに発展させていくことが重要であると考えました。

そこで、今回の改組において短期大学部は平成 27 年度以降の学生募集を停止し、高等教育機関としての使命を筑紫女学園大学に一本化することにいたしました。

### 【文学部の改編】（構想中）

文学部は、現在の 4 学科構成のうち「英語メディア学科」の教学主題を新設する現代社会学部に移行し、日本語・日本文学科、英語学科、アジア文化学科の 3 学科構成とします。

これを機に文学部全体の教育課程を再編し、より充実した学習支援体制を整えます。

**【人間科学部の定員増】（構想中）**

人間科学部（人間関係専攻：発達臨床心理コース・社会福祉コース、人間形成専攻：初等教育コース・幼児保育コース）は、それぞれの教育課程を再編し、幅広い教養と専門性の両面において、より充実した教育体制を整えます。また、教育・保育の現場で強く求められている、豊かな人間性と専門的な知識・技能を兼ね備えた保育者をより多く育成するため、人間形成専攻の入学定員を 100 名から 150 名へ増員します。

上記に伴い、大学文学部英語メディア学科および短期大学部の現代教養学科、幼児教育科は、平成 26 年度の入試をもって学生募集を停止することになります。

なお、現在の在学生、また平成 26 年に入学する新入生の皆様には、教育・学生生活・就職活動などを含めたすべての支援について、今後も万全を期して臨んでまいります。

在学生・保護者の皆様、及び卒業生の皆様、その他学校関係者の皆様のこれまでのご厚情に心から感謝、御礼申し上げますとともに、今回の改組計画の趣旨をご理解いただき、今後ともご協力とご鞭撻をいただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成 26 年 3 月 20 日